

**Xbox360用アクションアドベンチャーゲーム「フレームシティ」参考資料****■ストーリー****西暦 2042 年——光と闇が交差する魔都フレームシティ**

十数年前、Visual Frame(ヴィジュアルフレーム・通称 VF)が発表された。超薄型・省エネ・高度な製膜技術などを実現した映像媒体＝VF を使えば、あらゆるものに映像を表示することが出来、またデジタルデータの記録なども可能なことから、世界の映像表現・通信技術は一新された。瞬く間に VF は世界中で普及し、VF を開発した IT 企業・SORA 社が本社を置くこの街は、世界経済の中心地となった。今やフレームシティは、世界で最も VF にあふれ、人々が憧れる「光の街」である。

**しかし光は同時に、闇を生み出す**

華やかなフレームシティの裏側で暗躍するマフィアたちはVF技術を利用し、新しい資金源を生み出した。特殊な加工を施された映像データ——VA(Visual Acid・ヴィジュアルアシッド)である。VFに投影し、見るだけで強烈な快楽が得られるその映像は、体験者の口コミによって瞬く間に広まった。その直後、VAの持つ強い副作用が人命にも影響すると判明し、使用が禁じられたが、そのことがかえってVAの価値を高め、マフィアたちの強大化につながり、フレームシティの闇は拡大の一途をたどった。

**「闇」に君臨する謎の黒幕——「カーン(皇帝)」**

そして、その名を知らない者はなくとも、正体を知る者は誰一人いないという、謎に包まれた恐るべきテロリストが今、フレームシティに舞い戻り、世界一の大国への大規模な『VAテロ』を企てているという。『VAテロ』——いまや、世界中の都市、街、村にあふれるように設置されたVFのすべてに、強力なVAを流すことで、人々の脳に強烈なショックを与え、破壊し、死に至らしめる……それは、一瞬にして数千万、数億の命を奪い去る、空前絶後の恐るべきテロ計画だった。カーンの動きを察知した某国政府はカーンの引渡しを要請するが、カーンの圧力からなのか、フレームシティ側はこれを拒否。それどころか、カーンの存在そのものを否定した。刻一刻とテロ決行の日が迫る。政府間交渉を断念した某国政府は、特殊機関 SOU(Special Operation Unit)による事態の打開を決定。

**「テロリストカーンを殺し、VAテロを阻止せよ」**

SOU最強の特殊工作員——コードネーム・クロウに特命がくだされる。

武器や機械、乗り物の取り扱いに精通した経験。あらゆる武術を使いこなす戦闘能力。そして、何事にも動じることのない強い精神力。特殊工作員に必要なすべてを兼ね備えたクロウの任務成功率は100%。

だが、非公式の任務ゆえに、頼れるものは己以外にない。任務は困難を極める。

冷徹なプロフェッショナルが挑む、不可能ミッション——「カーン暗殺」。絶大なる力と恐怖をもって闇に紛れ込んだ“皇帝”を追って、クロウは単身フレームシティへと潜入する。「殺し屋」として——

